

大鷹俊一の

# レコード・コレクター 紳士録

155

今月号から本誌で連載／American Rock Lyric Landscape／が始まるジョージ・カックルさん。ラジオのDJやCD制作など、さまざまな顔を持つ彼の連載もとても楽しみだが、それをさらにたつぷり味わうため、まさに人生が、ロック・コレクシヨンのような歩みを聞かせてもらおうと、お住まいがある鎌倉に伺った。

ご自宅は、明治21年に建てられた秋田の酒蔵を移築したもの。開放的な中に、音楽や趣味のサーフィンなどへのこだわりが息づいている。

答えが信じられなくてね、父と喧嘩したのを覚えてるよ。それ以前はヴェンチャーズのEPを買ってたくらいかな。友達の見賞から、どこでレコード買えばいいか知らなかったからね。

それからキャンプのレコード屋に行きだすんだけど、とにかく数を増やしたかったから、安い盤をたくさん買ったね。それで、たまたま安く売ってた『ナイツ・オブ・ザ・ラウンド・テーブル（田卓の騎士）』っていうのを買ったんだ。イギリスの騎士が画かれているジャケットのやつ。そしたら音楽が入ってなくてトークなの。アーサー王の話。親父に何でそんなの買ったの？って言われたよ。それが本格的なレコード・コレクシヨンの始まり(笑)

56年の生まれだからちょうどビートルズの登場と共に音楽に本格的に親しんでいく、本誌の多くの読者とも通じる体験をしてきた世代だ。ただし圧倒的に違うと思うのは、米軍キャンプが身近にあったこと。PXには日本で手に入らないレコードがあったという話は聞いたことがあり、こと音楽に関する限り天国のような気がしたが、実際は違っていたようだ。



ジョージ・カックルさん  
サンフランシスコにいた頃は、  
血を売ってレコードを  
買ってたこともあったよ(笑)

写真=大西 基



階段にはメキシコで入手した、ペルーの女性シンガー、チャプーカ・グランダのLPが。'Finca Estampa'という曲がお気に入り

「生まれたのも鎌倉で、父はPX (Post Exchange)の略で米軍基地内だけにある購買部のこと)で働いていたからキャンプには全部入れたの。家では(ハリイ)ペラフオンテがよくかかってたよ。で、小学3年の終わりに立川に引っ越してベースの中に

住んだのね。ちょうどその頃ビートルズがブレイクして、鎌倉みたいな田舎にいたら僕はビートルズを知らなかったんだ。って父に言ったら、去年はまだビートルズなんかいなかったよ。って。当時はどこに行ってもビートルズがかかってたからその

明治時代の酒蔵を移築したお住まい。  
土壁作りの建物には太い梁が縦に18  
メートルも通されている。釘は1本も使  
われていないというから驚く。1階から2  
階は吹き抜けになっていて、その開放  
感が素晴らしい



「キャンプのレコード屋でも、人気盤は  
すぐになくなっちゃうのね。数がなかった  
から。ビートルズなんかすぐ売り切れちゃ  
う。それで最初にキャンプで買ったロック  
のレコードはビーター&ゴードンの『Sing  
And Play The Hits Of Nashville, Ten-  
nessee』ってやつで、△アイヴ・ガット・  
ア・タイガー・バイ・ザ・テイル▽なんて  
のが入っていたの覚えてるよ。まだCDに  
なっていないみたいなんだよね。」  
高校くらいになってわかったのは、一番  
良いセレクションは海軍のベースだってこ  
と。なんだか知らないけどたくさんレコー  
ドあって、なんで？って父親に聞いたら、  
あいつらには船があるんだよって(笑)。高  
校のときにはもう全部のベースにレコード  
を買うために行ってたね。ベースとベース  
の間には軍のバスが通ってるんで、それ  
を使えばいろんなところに行けたの」  
PXではどんなレコードも買い放題かと  
思ってたらしいけどもなかつたようだが、考  
えてみれば当たり前のことか。それでも向  
こうの音がダイレクトに飛び込んでくる感  
じは、僕らがラジオや音楽雑誌から想像を  
広げるのとは違っていいことは間違いない。

その後、カックルさんはアメリカにわたる。  
「5年生まで立川にいて6年生のときに  
テキサスに引越したんだけど、アメリカ  
で6年生というとみんな普通にレコード持  
ってるんだよ。で、オレんちにみんな来て  
レコード見たら、何これ、ヴェンチャーズ  
って誰？(笑)。全然知らないんだよね。」  
ある日、友だちとドラッグストアにレコ  
ードを買いに行ったの。ケニー・ロジャ  
ーがカントリーやる前にやってたアシッド  
・バンド、ファースト・エディションの1  
枚目が△ジャスト・ドロップト・イン▽つ  
て曲だったんだけどね、そしたらなかつた  
んだよ。で、友だちがこれも同じだよつて  
薦めてくれたから何が同じなのかわからな  
かつたんだけどとにかく買ったの。それが  
ブルー・チアーの△サマタイム・ブルー  
ス▽でね(笑)。お前、どこが同じなの？つ  
て言っちゃったよ。こっちはケニー・ロジ  
ャーの爽やかな音が聞きたかったのに、  
ブルー・チアーを買っちゃったんだよね。  
ケニー・ロジャースを最初に観たのは遊  
園地だったな。アメリカってそういうとこ  
ろでやるんだなあ〜って思ったね。まだフ  
ァースト・エディションのときで、ビート

ルズの△ヘイ・ジュード／リヴォリユーシ  
ョン▽がヒットしている頃。そういえば、  
ビートルズのモノマネ・バンドのレコード  
があるんだよ。まるつきり同じ。完璧なコ  
ピーで、ビートルズが70%ならそっちは90%  
で安いわけ。そっちで持つてる人、たくさ  
んいたな(笑)」  
それから韓国に移り我々と同じように昼  
食代を貯めてレコードを買うような生活に  
なるが、日本に帰ってくると日本のアーテ  
ィストたちも含めてさらに幅広く深く音楽  
にのめり込んでいく。  
「日本に帰ってきた頃にちょうどキャロ  
ルが出てきて、こんなカッコイイやついな  
いなと思って、そこで日本のレコードもい  
ろいろ聴くようになったんだよ。九州で  
ヒッチハイクしてて指宿のユースホステル  
のお兄さんが(吉田) 拓郎の曲を歌ってる  
のを聴いて『元気です』が好きになってね、  
あれは一番聴いているアルバムだな。」  
あと17歳頃かな、浅川マキを好きになっ  
て。あの暗さが良かったのね。1枚目は素  
晴らしいアルバムだよ。アメリカの家では、  
浅川マキを聴きながらウイスキーを飲みた  
いと思ってスポットライトの光が当たるよ

自作の棚にギッシリと収まるCD群。FM放送等でDJをやっていることもあり、今でもCDの購入数は凄まじいようだ。上には建物の、いかにも頑丈そうな梁が見えている



1週間で自作したという屋外のデッキ。夏場はここで食事を取るそうだ

インターランドは、コンサート会場。だから始まりが早くて既に終わってたりとか(笑)。あとジェリー・ガルシアもよく観たね。

最高のライブというU2はすごかったね。『ヨシユア・トゥリー』のときで前座がプリテンダーズ。逆にひどかったのは(グレイトフル)デッドとザ・フリーだ。一緒にアウトドアでやったんだけど最悪だったよ。デッドって『ダメな日』があるじゃない? まさにそれで。ザ・フリーはウツドストックを見るから期待してただけ

ど、五分刈りのTシャツ姿で出てきちゃったからがっかりした。まだキース・ムーンがいた頃だったんだけど。マイク・ブルームフィールドは良かったな。ノースビーチにあるカフェで観ただけどサニー・ローズがスライド・ギターで、かっこよかった。観たすぐ後にその道の車の中で死んじやったんだよ。

一番ヘンだったのはタワー・オブ・パワー。見に行ったらホーン・セクションがいなかったの、ダブル・ブッキングで。ホーン・セクションがないタワー・オブ・パ

ワー、つまらないよ(笑)。ジョン・リー・フッカーもよく見たね。ゴールドデン・ゲイト・パークでやったときはサイド・ギターがサンタナで、すごかったよ。レゲエもよく行ってたね。ボブ・マーリーに凝ったときは彼しか聴かなくなって、シングルや各国盤まで、見れば全部買ってたよ。今はアメリカの倉庫に入ってるけど」

他にも面白い話をたくさんしていただいたが、それはこれからの連載でもいろいろと出てくるだろう。膨大な話題のコレクションを、僕も楽しみにしたい。



「最初にサンフランシスコに行ったときは親父のところに居候してお金がないから、レコードが買えないんだよ。だけどヒッチハイクしてパークレイまで行って血を売れば1回5\$くれたのね。赤(血餅)だしい限りだ。」

うなカウンターを作ったりね(笑)。彼女のライブもよく観に行つたよ」

今年1月、突然の訃報に驚かされた浅川マキさんの名前がここで聞けるとは意外な思いもするが、考えてみれば70年代前半の日本で過ごして偏見なく耳を開いていれば、そうした失った音に反応するのは自然なことだった。

そして18歳になり新宿2丁目にあったロック喫茶(開拓地)でアルバイトをしながら上智大学に通うが、友人の誘いでインドを手始めにパキスタン、ヨーロッパなどを放浪してサンフランシスコにたどりつく。約7か月、約15万円で世界一周したそうだから安かったもんだ。その後再びインドに行つたりしたが、子供の頃からやっていたサーフィンでサンフランシスコの波に惚れて18年間、暮らすことになる。もちろんさんざん音楽も聴きまくつたというから羨ましい限りだ。

け抜いて白(血清)を返すのかな。そうすると週2回できるんだよ。それでたくさん買ったね(笑)。

一時期、ウィンターランドから歩いて3分くらいのところに住んで、いろいろ観たよ。ジョー・コッカーに行つたら酔っぱらって来なかったり、ジョニー・ウィンターのときは10時くらいに出てくるんだらうと思つて他のライブハウスに行つてたらウ

ムッシュカマやつバンド、ONE NIGHT STAND BROTHERSのLPとCD。ジョージさんは18歳の時にロック喫茶(開拓地)で知り合ったギタリスト、今剛さんの紹介でアルバム制作に関わつた



愛聴盤CD。最近ではオーストラリアのサーフ系女性シンガー・ソングライター、アシュリー・マニックスがヘヴィ・ローテーション



『灯ともし頃:浅川マキVII』。彼女の他のアルバムも含め、数千枚に達するLPはアメリカの倉庫に保管している